

・このお便りは、四中の全保護者に配布しております

PTAニュース

令和2年度
第3号

令和2年10月13日発行
調布市立第四中学校 PTA
会 長：富田 耕一郎

今号の目次：

1. 標準服勉強会について（ご報告）
2. PTA 活動報告
3. 入校証（ネームカード）再発行について
4. Pメール登録について

1. 標準服勉強会について（ご報告）～四中独自の文化をみつめて～

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は体育祭や職場体験、修学旅行、合唱祭などの行事が相次いで中止、または縮小せざるを得ない状況となっています。このような行事は、生徒の学習面において重要であると同時に、生徒自身はもちろん、保護者や教職員も子どもたちの成長を実感できる、通過儀礼のような意味合いもあります。

その中で、だれもが生徒たちの成長を実感できる現在の標準服の重要性について再認識するための勉強会を、PTA 本部役員と教職員とで開催しました。

ご存じの通り、標準服のネクタイとリボンは、1年次が緑・2年次が青（紺と水色）・3年次が赤と進級するごとに変化します。ネクタイとリボンの進級による変化は東京都の公立中学校の中でも数少ない特長的なことであるにも関わらず、ここに込められた生徒たちの「願い」や生徒たちが培ってきた「文化」についてこれまでPTAも学校も向き合ってきませんでした。

そこで、現在のネクタイとリボンの色になった経緯や理由などを知るべく、四中生を日頃から見守る地域の方や四中卒業生の保護者を講師にお招きし、学校とPTA本部役員で標準服についての勉強会を開きました。

以下、勉強会の内容をご報告します。

勉強会開催日時：令和2年9月11日（金）15:30～17:00 および18日（金）16:00～17:15

場所：四中PTA室

講師：手島さん（若葉小PTA会長・四中卒業生保護者）

笠木さん（四中学校評議員・四つ葉防災等）

大嶋さん（元四中PTA会長・若葉小地域協働本部地域コーディネーター等）

小島さん（前四中PTA副会長・健全育成推進若葉地区委員・四中卒業生保護者）

出席者：生野校長・長田副校長・高橋（潔）主任教諭・外山主任教諭

富田・大野・吉村・遠藤・山本（PTA本部）

①現行の標準服への移行の経緯

平成27年度の創立50周年に向けて、標準服の全面改定が行われた。

生地改良や面接時の見た目の効果、エンブレムや細かい箇所仕立て方など、当時の校長と地域の方で意

見を交換しながら検討を繰り返した。

ネクタイとリボンの色については、この標準服に最も映える色は赤であり、1、2年生には最高学年の赤に向けて成長をして行くよう、3年生にはその色に恥じない振る舞いをするよう、当時の校長から折に触れて伝えていたとのこと。

平成25年度の新入生から順次新しい標準服となり、50周年の平成27年度に全学年が揃った。

②卒業生の意識（保護者より聞き取り）

- ・進級の意識づけのきっかけとなっている。「上級生の意識を持とう」等の話は折にふれ学校や保護者から聞くことだが、現物を伴うことの説得力は大きい。
- ・今年度に限って言えば、進級の時期がコロナ禍の休校と重なり、進級の意識が持ちにくかったが、新しい色のネクタイやリボンを手にすることで実感することができた。
- ・ネクタイとリボンの色はそのまま先輩への憧れであり、学年が上がる自覚そのものである。それが四中の伝統であり、合唱祭などの意気込みなども他校と一線を画すなど、意識の違いにつながっていると思う。
- ・部活の先輩などから個人的に受け継ぐことも多い。単純にネクタイやリボンを後輩に譲るという行為だけにとどまらず、伝統を後輩に引き継ぐ意識が四中生は高い。
- ・受け取る側の後輩は、先輩から受け継いだことで大切に扱う。また、あの先輩から受け継いだという意識が、部活やその他のことを頑張るモチベーションにつながっている。
- ・校内で知らない同士でも、ネクタイの色を見れば学年が一目瞭然なのでわかりやすい。
- ・3年生の赤は、面接試験などの場で非常に見栄えが良い。自信につながる。

③保護者の意識

- ・毎年の買い替えは正直に言えば負担に感じる。特に入学前、その制度を知った時は面倒に思った。
- ・入学後、子どものネクタイやリボンの色に対する意識を知り、見方が変わった。子どもにとって色の持つ意味は大人が考える以上に重い。
- ・入学前はなんとなく学年で違う色をつけている程度の認識で、四中はそういう学校と捉えていた。入学してから生徒の色への思いを知り、子どもには意味のあるものと思っている。
- ・部活によっては全員が後輩に受け継ぐことが習慣となっている部もある。1度も購入したことがない保護者もいる。また、保護者同士のネットワークで譲り合うことも多い。

④地域の目

- ・周年行事の来賓への記念品を教職員と一緒に製作したり、標準服改定にも深く関わったりするなど、もともと四中は地域との関わりが密接。そういう地域の中で、小学生の頃から見守り続けてきた子どもたちの学年が一目でわかることから、成長を実感している。
- ・自分の子が卒業した後も、地域で見かける四中生の学年が一目でわかることから、例えばもうすぐ職場体験だとか、受験で大変な時期になってきたなど、今の状況を慮ることができる。単に「四中生だ」というだけでなく、より注意深い地域の見守りにつながっている。

⑤学校としての意識

学校には、様々なご意見ご要望が寄せられます。その中に、ネクタイ・リボンについて、毎年買い替える経済的な負担を無くしてほしいという声がありました。学校では、進級の意識づけをネクタイ・リボンの色に込めているところではありますが、まだ使用できる状態にもかかわらず買い替えをお願いする状況については検討すべきだととらえています。生徒の思いを大切にしながら、多面的・多角的に検討し、より良い在り方を考

えたいと思います。

以上のとおり、現行の標準服には大切な意味があると学校・PTA本部で確認しました。

買い替えの負担感は、現行PTAで行っているリユース事業をより徹底・充実させることで軽減していくことを目指します。今年度は保護者や卒業生が来校できる機会が少ないため、リユース事業が例年どおりに進められていないことから、ある程度の本数のネクタイとリボンをPTAで用意しストックしておくことを検討しています（予算を使用するため、後日運営委員会に諮る予定です）

また、一つのことを長く大事に使い続けることは、エコの時代に教育上でも重要です。生野校長からは、現状通りを継承するなら、リユースを高い割合で実現したい、そして、リユースしたネクタイとリボンを、上級生から下級生に受け継ぐ引継ぎ式などを検討したいという説明をいただきました。さらに、集会など生野校長が生徒たちに直接語りかける機会には、ネクタイやリボンに込められている意味について、話をしたいとの見解も語っていただきました。

【PTA会長の気づき】

現在の標準服制度を大人の視点のみで見た場合、費用面の問題、校務上の常識、家庭の価値観など、様々な意見が出てくることは十分承知しています。

しかし今回、四中生たちと学校運営を支える地域の方々、教職員、保護者とそれぞれの立場で話し合う中で最も感じたことは、大人が想像する以上に生徒たちが四中独自のネクタイとリボンの制度を自ら育み、伝統をつくり、文化として昇華させているということです。

四中独自のネクタイとリボンの制度は、単に成長を感じさせるだけでなく、生徒たちに四中生としての誇りとプライド、そして保護者や地域への感謝につながる大切な制度です。この制度の価値をさらに高めるために、私も保護者として、子どもたちとネクタイとリボンについて折に触れ会話すべきだと強く意識させられました。

2. 活動報告

・本部役員の活動

随時 本部役員会（対面/リモート）

7/28 東部児童館運営委員会（副会長・大野）

9/11、9/18 標準服勉強会

<今後の予定>

10/19 前期会計監査

・進学フェア担当役員

7月中旬～ 担当する高校の情報収集、資料作成、実行委員会へ提出

7/23 担当役員・本部役員と打合せ（ZOOMを用いたオンライン会議）

8/3 進学フェア（書面開催）印刷・配布作業

9月中旬～ 反省点まとめ、実行委員会へ報告

・地区協担当役員

9/15 地区協防災班会議 出席

10/7 定例会議

<今後の予定>

11/8 若葉地区防災訓練（若葉小体育館）

- ・ 四中サポーター統括担当役員

10/4 あいさつ運動参加者募集メール配信文作成

- ・ 制服などリユース担当役員

9 月下旬 前年度引継ぎ資料受け取り

10/2 リユース品問い合わせ対応

- ・ 3 年生クラス委員

9/5 本部役員と ZOOM によるオンライン会議。卒業記念品について打ち合わせ以降、随時 LINE などによる打ち合わせ

- ・ 1、2 年生クラス委員

9 月下旬 来年度 PTA 本部役員選出のためのお便り原案作成

- ・ P 連（会長富田）

随時 ZOOM などによるオンライン会議

- ・ 健全育成推進若葉地区委員会（副会長大野）

7/29 メール報告（以降随時）

<今後の予定>

10/22 定例委員会出席（東部児童館）

3. 入校証（ネームカード）再発行について

セキュリティ上の観点より、入校証の再発行には今年度より「保護者用名札再発行願」をご提出いただくことといたします。

紛失・破損などで再発行を希望する方は、P メールまたは本部役員まで直接ご連絡ください。折り返し、お子さん経由で発行願をお渡ししますので、担任の先生までご提出ください。

その提出を確認してからの再発行となりますので、再発行までの間に学校に出向く場合は、お手数ですが事務室での手続きをお願いいたします。

4. P メール登録について

今年度より外部メールサービス「マメール」を利用したメール連絡を導入し、既に 300 名を超える保護者の皆さんに登録いただきました。担当役員・クラス委員の皆さんへの連絡を中心に、軌道に乗り始めています。

まだ登録がお済みでない方は、この機会に是非ご登録ください。

<メールアドレス> chofu4.jrh@mamail.jp

<QR コード>



※ メールアドレスを入力するか QR コードを読み取って空メールを送信してください。件名・本文ともに何も記載しないでください。

登録完了メールと同時に、プロフィール入力案内が届きます。この際「@mamail.jp」からのメールを受信できる状態にしておいてください。完了メールが届かない場合、迷惑メールに振り分けられている可能性もありますので、そちらもご確認ください。

登録に関してご不明な点がありましたら、chofu4.2019pta@gmail.com までお知らせください。ソフトバンクの携帯は、「URL リンク付きメール拒否」の設定をしていると、「入会お礼メール」が届きません。設定を確認ください。

携帯電話の機種によっては、空メールが送信できないものもございます。

そのような機種で入会作業をする場合は、件名は何も入力せず、本文の先頭に「入会」の漢字 2 文字のみを入力して送信してください。